

令和4年度 山口県中学校長会秋季研修大会開催要項

- 1 期 日 令和4年10月14日(金)
- 2 会 場 山口県岩国市 周東文化会館パストラルホール 周東勤労青少年ホーム
周東総合センター日向 玖珂こどもの館
- 3 主 催 山口県中学校長会
- 4 共 催 山口県教育委員会・岩国市教育委員会・和木町教育委員会
- 5 主 管 岩国・和木地区中学校長会
- 6 後 援 岩国市、和木町、(公財)山口県ひとづくり財団
(公財)日本教育公務員弘済会山口支部、(公社)日本教育会

7 研究主題 「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」

今の子供たちやこれから誕生する子供たちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は新たな局面を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少やグローバル化の一層の進展、人工知能の飛躍的な進化をはじめとする絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化し続け、今にも増して、予測困難な時代となっている。

また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った、個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが必要となってくる。そのような中「Society5.0」で実現する社会は、IoTやAIで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されるようになる。さらに令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、社会秩序や人々の生活等を一変させるような事態と子供たちが常に隣り合わせであることを実証することとなった。このような社会を生き抜く子供たちには、あふれる情報から必要な情報を見つけ、分析しながら、様々な課題の解決に向き合っていく力の育成が求められている。そしてそれは、我が国の伝統や文化を尊重し、高い志や意欲をもつ自立した日本人として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、アフターコロナを見据えた、よりよい社会を形成していく力を身につけることと共に進められなければならない。

一方、こうした社会の変化や多様化に対する教育改革の動きは速く、内容も多岐にわたる。令和3年度全面実施された中学校学習指導要領では、社会に開かれた教育課程の理念のもと、子供たちに多様な人々や社会と連携・協働しながら、新しい時代を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を一層確実に育成することを目指している。そこには、一人一人の個性に応じた多様で質の高い学びを実現することを意図し、学習のあり方そのものを問う「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進の必要性が示されている。また、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で構成するとともに、教育内容の質の向上に向けて、教育課程の改善をねらいとした一連のPDCAサイクルを確立することが重要であることが指摘され、加えて教育活動に必要な人的・物的資源を含めた地域資源を効果的に組み合わせて活用を図る「カリキュラム・マネジメント」の推進も求められている。また、同年1月には中央教育審議会から「令和の日本型教育の構築を目指して(答申)」が出され、今回の学習指導要領の着実な実施が重要とされた。新型コロナウイルス感染拡大をはじめとする社会の急激な変化の中で再認識された学校の役割や課題を踏まえ、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型教育」とし、その姿を「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」とした。学校ではICTの活用と少人数によるきめ細やかな指導体制の整備により「個別最適な学び」と「協働的な学び」とを一体的に充実することを求められている。

山口県教育委員会においては、2013年10月に策定された「山口県教育振興基本計画」に教育目標を「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」として掲げ、2018年には「第3期教育振興基本計画」が策定された。その中で、教育目標達成のため①知・徳・体の調和のとれた教育の推進、②学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進、③生涯を通じた学びの充実、④豊かな学びを支える教育環境の充実の4つを柱とし、取り組みを進めているところである。2015年3月には、新たな県政運営の指針として「元気創出やまぐち! 未来開拓チャレンジプラン」が策定され、学力向上はもとより、いじめや不登校への対応、家庭・地域の教育力の向上など、複雑・多様化する現下の教育課題への確に対処するとともに、ふるさとに誇りと愛着をもち、積極的に社会の形成に参画し、その発展に貢献していく人材の育成に向けて、コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育を充実させ、学校と家庭・地域が連携・協働する取組を進めていくことが一層求められている。

私たち校長は、組織のトップとして、「今」の状況を冷静に見て、分析するとともに、常に「未来」に目を向け学び続ける頭脳集団として、学校並びに社会の有り様を見据え、確かな理念のもとに学校経営を行っていかなければならない。中学校教育の現状を見ると、いじめの問題をはじめ、規範意識や社会性、学習意欲の低下、暴力行為等問題行動の増加など、様々な課題が指摘されている。これらの課題の解決に向けて取り組むとともに、不登校の解消やSNSによるネットを通じた子供の犯罪被害の防止等に力を注ぎ、子供たちの安心・安全を守るためにも、学校は、「地域とともにある学校」に転換していくことが求められている。また、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業力を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにするために、学校における働き方改革を一層進めていかなければならない。そして、地域住民から支持され信頼される学校の創造を目指し、山口県らしい教育の具現化を図り、広く県民の負託に応えることとする。

8 分科会・研究協議題及び会場

分 科 会		研 究 協 議 題	場 所	会 場
第1分科会	教育課程	「社会に開かれた教育課程」の編成・実施	文化会館パストラルホール	ホール
第2分科会	学習指導	「主体的・対話的で深い学び」の実現	周東勤労青少年ホーム	集会・学習室
第3分科会	道徳教育	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実	周東総合センター日向	研修室2
第4分科会	健康教育	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	周東総合センター日向	第3講座室
第5分科会	キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実	周東総合センター日向	第4講座室
第6分科会	生徒指導	自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	玖珂こどもの館	会議室1
第7分科会	現職教育	多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成	玖珂こどもの館	会議室2
第8分科会	学校経営	学校と地域の連携・協働による「チーム学校」の実現	玖珂こどもの館	ホール

9 秋季研修大会日程

時 刻	内 容	会 場
9:10～9:30	受 付	周東文化会館 ^ハ パストラルホール
9:30～10:10	開会式 1 開式の言葉 2 国歌斉唱 3 信条唱和 4 あいさつ 山口県中学校長会長 網本 徳文 様 山口県教育委員会教育長 繁吉 健志 様 5 祝辞 岩国市長 福田 良彦 様 和木町長 米本 正明 様 6 来賓紹介 7 閉式の言葉	周東文化会館 パストラルホール
10:10～10:30	休 憩	
10:30～12:00	講演 演題「 混迷の時代における公教育の重要性 」 株式会社 CGS コーポレーション代表取締役社長 豊島 貴子 様	
12:00～12:20	全体会 1 調査研究委員会報告 2 あいさつ 岩国・和木地区中学校長会長 林 孝志 諸連絡	
12:20～13:20	昼 食・休 憩・分科会打合せ	
13:20～14:40	分科会研究協議（第1分科会～第8分科会）	周東文化会館 ^ハ パストラルホール 周東勤労青少年ホーム 周東総合センター日向 玖珂こどもの館
14:40～14:55	休 憩	
14:55～16:10	分科会研究協議（第1分科会～第8分科会）	同 上

